PAT-NO:

JP361120964A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 61120964 A

TITLE:

MOLD PROOF TEST PAPER

PUBN-DATE:

June 9, 1986

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

ICHIKAWA, EIICHI YOSHIMURA, KENJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KK ICHIKAWA KENSOU N/A

APPL-NO: JP59241612

APPL-DATE: November 17, 1984

INT-CL (IPC): G01N033/00 , C09J007/02 , G01N033/32

US-CL-CURRENT: 422/56 , 422/58 , 428/354 , 428/355AC , 435/32 , 435/34 , 435/256.8 , 435/805 , 436/169

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable the execution of a mold proofing test accurately and simply, by applying a point containing an mold proofing agent on the surface of a mount paper to provide an adhesive agent on the back thereof.

CONSTITUTION: A test material layer 2 containing a mold proofing agent is applied on the surface of a mount paper 1 and an adhesive agent layer 4 is provided on the back of the mount paper 1. The mount paper 1 is preferably water absorbable. The adhesive of the adhesive agent layer 4 preferably employs an water acrylic emulsion based one having nitrogen source and other inorganic salts added thereto. The mold proofing test paper thus obtained can be put tight on the place where mold develops thereby allowing a mold proofing test in the

almost the same environment as that where a \underline{mold} proof paint is applied. Thus, the results of the test is accurate and can be done simply.

COPYRIGHT: (C) 1986, JPO&Japio

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-120964

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和61年(1986)6月9日

G 01 N 33/00 C 09 J 7/02 G 01 N 33/32 7906-2G 6770-4J 7906-2G

9年2

審査請求 有 発明の数 1 (全4頁)

❷発明の名称

防カビ試験紙

Ш

②特 願 昭59-241612

愛出 願 昭59(1984)11月17日

②発明者 市

栄 一

東京都大田区上池台 4 丁目24番21号

⑩発明者 吉村 建治 ⑪出願人 株式会社 市川建装

東京都大田区石川町2-13番1-202東京都大田区上池台4丁目24番21号

砂代 理 人 弁理士 津 田 昭

切 和 世

- 1 特明の名称 防力ビ試験紙
- 2 特許構求の戦団
- (1) 台紙、この台紙の袋面に設けられた試験材料を、およびこの台紙の裏面に設けられた接着料をからなることを特徴とする助力に試験紙。
- (2) 台紙の変面に設けられた試験材料層が、助 カビ剤を含む電料製であることを特徴とする特許 環境の範囲毎1項に記載の助力と試験紙。
- (3) 合紙の表面に設けられた試験材料機が、少なくとも2関所に設けられており、その少なくとも1関所は助力ビ列を含む物料機であり、他の少なくとも1関所は助力ビ列を含まない同様の物料機であることを特徴とする特許環次の範囲第1項または第2項に記載の助力に試験紙。
- (4) 台紙の裏面に設けられた受情期増が、台紙 との優勢節の反対面に対験紙を有しており、そし てカビの役券がを含むことを特徴とする特許研究 の範別等:用ないし第3項のいずれかに記載の防 カビ試験紙。

- (5) 合紙が、名詞であることを特徴とする特殊 構求の範囲第1項ないし著4項に記載の訪カビは 輸紙。
- 3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本務明は、筋力と整容に使用する助力と対の力 との発生の助止効果を試験する助力と試験低に関 し、さらに詳しくは、防力と整容に使用する助力 と可において、力との発生の著しい場所における 助力と効果を簡便な手段によって的概に試験する ことのできる助力と試験紙に関する。

(発明の智景および従来技術の説明)

コンクリート造りの強物は密閉性にすぐれているので、外気の昼度が低い時あるいは内部において 無気を発生する時に整面に破滅することが多く、 それによって壁面にカピの発生することが多い。 このカピの発生を助止するために、カピの発生する 環面に 萌カピ性の をあるいは 萌カピ 用を含む 食料で食をすることが 試みられているが、 コンクリート 質面におけるカピの発生を的顔に 苛止する

ことのできる好力と作の他なにおける防力と弱を 選定することは非常に無かしいのである。このた めに、助力に食料に瓜入する助力に飛の助力に効 呉を試験する方法として、 20種に近いカビに対 する切力に効果を試験する日本工製規格 JES Z ー 29!1 - 1981 が定められているが、本発明者らは、 この日本工業現格の試験に合格した助力ピ剤を使 用した助力ビ豊料を使用しても、カビの発生を防 止することのできない事例に再三遭遇した。カピ は微生物の中でも生命力の強いものが多く、また 一般に、微生物は生育する環境条件によって生育 しうる微生物の随類が異なるが、微生物の層類に よって、助力ビ剤に対する抵抗性も異なるので、 本発明者らは、カビの発生している興場からカビ を採取して、そのカビに対して有効な妨力ビ猟を 徴料に脳入した筋カビ徴料を使用して、カビの発 生を妨止することに成功した。しかしながら、改 **宅物は、その産業によって、生育に通する環境条** 件が異なるので、本発明者らは、前記の防カビ剤 の居定において、カビの発生している與場から採

取したカピの生行に選するの間次作を見出すが終 およびその母類条件において生行しているカピに 対する切カピ語の切カピ効果の試験の及方の試験 を行なうことを余儀なくされた。そこで本発明を らは、カピを採取する現場において助カピ剤の助 カピ効果の試験を行なえば、カピの生育に選する 週類条件を見出すための試験をする必要のないこ とに気付き、その場場における試験を開発に行な うことのできる試験用品の開発を企図して、本発 明に舞通したのである。

(発明の自的および発明の契約)

本発明の目的は、カビの発生する風場において、 助力に用の防力に効果を簡単にして的値に試験す ることができる防力に試験用品を提供することに ある。

本発明のもうしつの目的は、カビの発生する馬 場における切力に耐の防力に効果の試験の結果を 速やかにして的値に知ることができる防力に試験 用品を提供することにある。

本苑明は、台紙、この台紙の表面に設けられた

(角明の具体的な路明)

本利明の切力とは最低は悪し図から悪4図に示される構造を有する。図面において、1は合紙、2は、合紙1の裏面の防力と利を含む試験材料場、4は、台紙1の裏面の根幕両型、および5は、機伸用の4の裏面の刺離紙である。本利明の防力とは験単には、第2図に示すとおり、合紙1の裏面の防力と利を含むは験材料場2と過程する位置に、防力と和を含まない試験材料場3を設けることが

ca6.

本稿間の助力ビ試験紙における合紙(は、その 返回および返回に助力に薪を含む試験材料層 2 お よび疫毒剤瘤4を保持することができるものであ れば、いかなる紙質のものであってもよいが、水 分が存在する場合に、吸水することのできる紙質 のものであることが好ましい。また疫養剤増4が、 カビの栄養版を含むものである場合は、水分が存 在する場合に吸水することができ、また水分が安 面から延囲に、そして裏面から安価に移動しうる 程度の過水性のある紙質のものであることが特に 好ましい。台紙!が前述の吸水性および透水性を 句する紙質のものである場合、被償剤者 4 に含ま れるカビの栄養療が合紙!に吸収された水分によ って梤出され、そして杏出されたカピの栄養師が 台紙(の裏面から袋面に移動する水分とともに# 術から表面に移動して、合紙1の裏面の助力ビ風 を含むは繋が野幅でおよび助力ピ刑を含まないは **ぬけむ聞うに到途することができ、それによって** 以終材料機 2 および 3 におけるカビの生存が加速

されるので、な飲材料的2 に含まれる助力ビ系の 助力ビ効果の再定がより客概的で的概に行なうこ とができる。

は飲好祭母2 および3 における試験好料は、助かに開を含むか色か以外においては同一の簡単であるべきであり、それによって助力と試験の対象の助力と関の助力と効果を、より客観的に、かつ的値に得定することができる。

剤に加えて使用する。

端度アンモニウム 3.0 g
リン酸ーカリウム 1.0 g
硫酸マグネシウム 0.5 g
塩化カリウム 0-25 g

本名明の助力と試験紙における合紙1は、項3 図および第4図に示すとおり、その変面に、試験 材料用2を設ける以外の会自部分を設けることが でき、その会自部分に、氏名を印刷して、助力に 試験紙を名詞として使用することができるように すること、または、その会自部分に、助力と試験 紙の使用伝またはその他の性態型きなどを印稿し て、その使用を的確に行なうことができるように することもできる。

本発明の助力ビ試験低は、防力ビ処理を行なう 場所に貼り付け、防力ビ網を含む試験材料層2の 設けられていない余白部分に力ビが密生するまで、 放復して試験を行なうが、防力ビ網を含まない試 験材料層3を助力ビ網を含む試験材料層2と共に

設けた場合は、助力と視を含まない試験な料が3に力とが密生するまで、切力と試験低を助力と処理を行なう場所に貼り付けたままに放置して試験を行なう。これらの試験において、助力と利を含む試験が影響2に力とが発育すると、その試験がいての異があるとはいえないが、助力と利を含まないな数が移る2によいでの会白部分に力とが発育しているにも向わらず、切力と列を含む数が料を2にからのである。

(発明の効果)

本税明の助力とは終紙は、カビの発生する場場に密等することができるので、助力とを科をを受したのと路々周然の環境において助力とは終を行なうことができる。したがってこのは験の物果は的値であり、かつ、そのは験方法も閉血であるという利点がある。

本品明の切力とは食能において、防力と剤を含

ひ 食品の は 検 好 品 層 お よび 助 カ ヒ 風 を 含まな い 喰 料 の は 検 好 料 切 を 知 個 に 激 け る こ と に よ っ て 、 喰 料 そ の も の の 助 カ ヒ 唯 を 知 る こ と が で き る の に 加 え て 、 助 カ ヒ 剤 の 切 カ ヒ 徳 県 を 的 碗 に 知 る こ と が で き る 。

本発明の助力とは触転において、優勢削減に力 との栄み原を含ませると、力との生育が促進されるので、は軟の結果を早く知ることができ、さら に力との生育に対してより好ましい。環境条件が与 えられているので、その助力と効果の判定はより 的確なものである。

本箱明の助力と試験低において、台紙を、は検 を実態する者の住所、氏名および選略先を忍入し た名物とすると、試験を実態する者が現場に常転 しない場合であっても、その試験の特集を早急に 知ることができる利点がある。さらに、合紙の会 台部分に試験方法を書いておくと、試験を実態する る場が現場に常駐しなくても、試験を的難に行な うこともできる利点がある。

さらに本格明の訪カピ試験紙において、遅而の

吸りないの台紙と反対の面に到機紙を取り付ける と、防カビ球検紙の存ち返びを問心に行なうこと ができ、さらに防カビ球検紙の路場における取り 付けを開心に行なうことができる利点もある。

4 図面の内盤な説明

数1 図は、本角明の動力と試験低の一個の関型 図、第2 図はその平面図、第3 図は本発明の他の 一例の製価図、および第4 図はその平面図である

1:台 紙

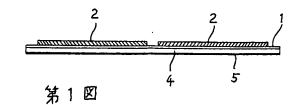
2:防力比例を含む試験材料層

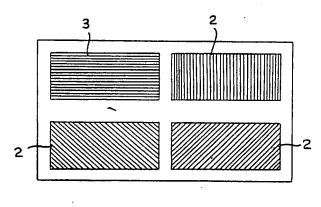
1:防力ビ研を含まない試験材料機

4:股種別域

5 : 20 cm at

出哺人 换式会社 市川镜多





第2図

